



【熱中症対策について】

いつもみのやま病院デイケアセンターをご利用いただきありがとうございます。今年も十年に一度の酷暑と言われており、テレビやラジオでは熱中症関連のニュースをよく耳にするとお思います。

熱中症とは、熱い環境に身体が適応できず、体温の調整や体内の水分・塩分のバランスが崩れ、様々な症状が起こる状態のことを言います。主な症状としては、頭痛・めまい・だるさ・嘔気・嘔吐などで、意識消失・最悪の場合、命に関わるほど重篤な症状を引き起こすこともあります。

熱中症の予防には、「こまめに水分や塩分を補給する」、「エアコンなどを使用して涼しい部屋で過ごす」、「気温の高い日は出来るだけ外出を控える・早朝や夕方などの少しでも涼しい時間帯に変更する」などが重要です。

運動や外出機会を確保するために、無理のない範囲でリハビリや自主トレーニングを継続し、この夏と一緒に乗り越えましょう。

異動のお知らせ

5月16日からみのやまデイケアでの勤務となりました。最初のうちはご迷惑をおかけしてしまうこともあると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

理学療法士 村中 隆一



美杉会の願い（法人理念）

- 私たちは、患者さんの苦痛をすみやかに和らげることに努めます。
- 利用者さんが心豊かで安心した生活を送れるよう支援します。
- 常に向上への志をもちます。
- 医療・保険・介護を包括的に行い、地域社会へ貢献します。

雑学コラム

蚊取り線香の器はなぜ豚なの？

江戸時代の蚊避けは草や木片を燃やした煙を使っていたそうです。他のものに火が燃え移らないように「火伏せ(火災を防ぐ)の神」として当時崇められていた猪にあやかって豚の容器が使われるようになったという説があります。

